

がみちゃんの映画道

第5回

キャラバン

Introduction

ヒマラヤの大自然と人間との、戦いと共生を描いた壮大なる感動スペクタクル。
キャラバン隊の少年を通して描かれた、山の気のように澄んだ成長物語。
アカデミー賞ノミネートをはじめ仏セザール賞最優秀撮影賞、音楽賞を受賞。
世界中で絶賛され、フランスでは250万人以上を動員する大ヒットを記録。本作品の
監督エリック・ヴァリは、標高5000メートルのオールロケを敢行、類稀なる美しさと
生きるかに溢れたドラマを描き出した。

☆☆☆☆

2月28日 於・シネマライズ渋谷

末娘の受験も終わり、あとは子どもたちが切り開くであろう人生を楽しみにしつつ

自分を取り戻そうと思う今日この頃。

自分を見つめなおす？ただ生きることの難しさ？悩み？

バカみたい。

私の日常が吹っ飛んだ映画「キャラバン」。

ストーリーなんてどうでもいい。木も育たない地に生きる人々。その景色のすごいこと。

人を寄せ付けないとはこのこと。

どうやったってスクリーンの中におさまりきれない自然！景色！

自然の中で人はただほっぽとくだけと置いていたら、死んだ人を鳥がついばみやすいように
砕くのよ、すごいでしょう。

見た事もないような景色がそこにあった。

どうしてそんなところに人がいるのかもわからない。

そこに自分がいることを想像するだけで鳥肌が立つ、身震いする。でも、行きたい！！

自分の常識がなんと陳腐なことか思い知らされた。